

経営比較分析表（令和2年度決算）

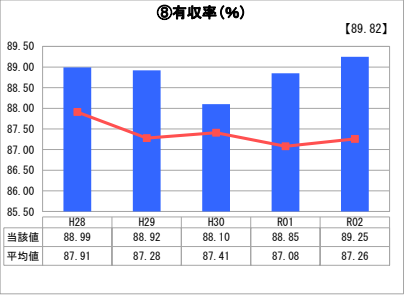
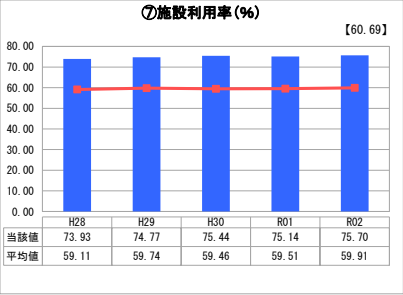
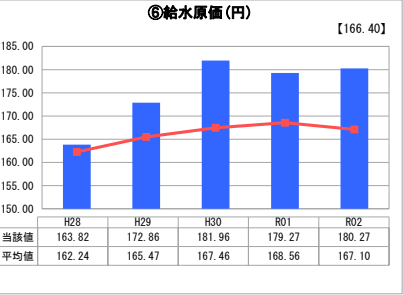
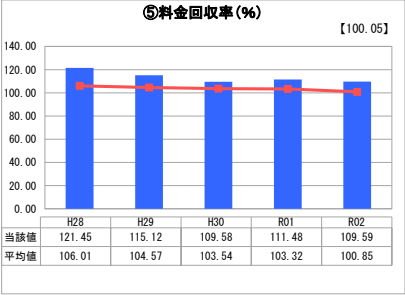
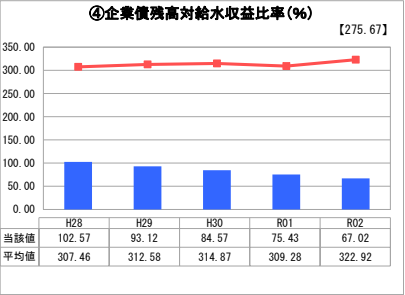
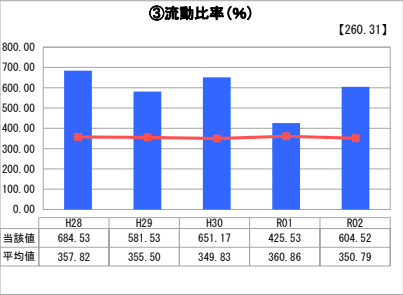
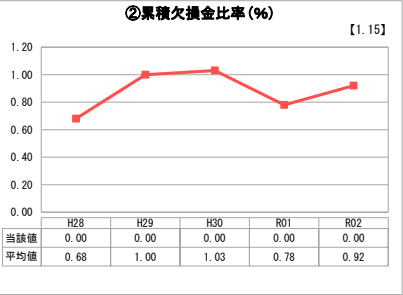
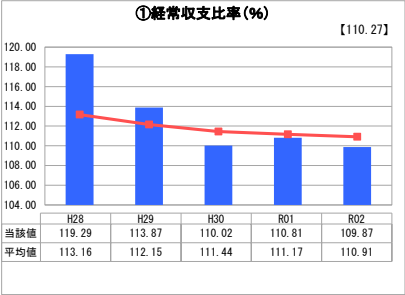
岐阜県 美濃加茂市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	92.34	99.48	3,850	

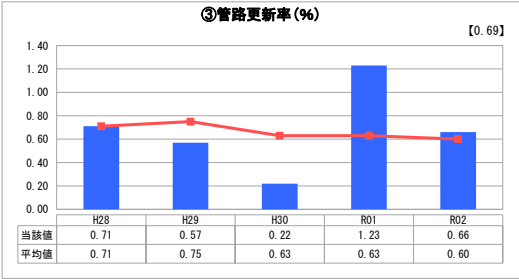
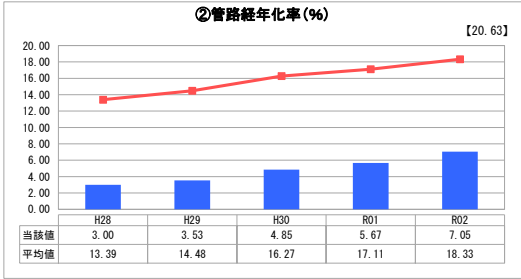
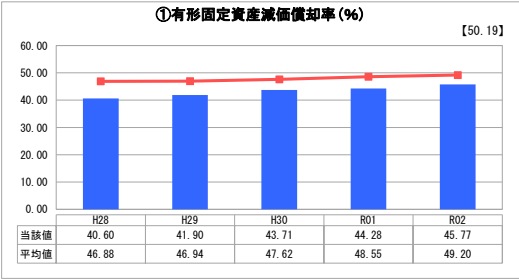
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
57,304	74.81	765.99
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
56,872	43.30	1,313.44

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

水道事業の経営は、類似団体と比較しても、概ね良好な状態であるが、経常収支比率は109.87%と類似団体と比較して1.04ポイント下回り、前年度よりも0.94ポイント減少しており、今後も引き続き経営改善に努める。

流動比率は604.52%と高く、短期債務に対する支払い能力の高さを表している。

企業債残高対給水収益比率は年々減少している。これは平成20年度から企業債借入を行わず、計画的に企業債を返還しているためである。

料金回収率は100%を超え、適切に料金収入が確保されていることを表している。

給水原価は類似団体を13.17ポイント上回り、前年度よりも1.0ポイント増加した。引き続き経営の効率化に努め給水原価の上昇の抑制を図る。

施設利用率は、全国平均や類似団体よりも高い数値を保ち、効率的に施設利用がされていることを表している。

有収率は類似団体を上回り、前年度よりも0.4ポイント増加した。計画的な漏水対策を進めていることが反映されており、今後も有収率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

水道施設の老朽化の状況は、類似団体と比較して概ね良好である。

有形固定資産減価償却率は45.77%と、全国平均や類似団体よりも低い数値ではあるが年々増加している。

管路経年化率についても全国平均や類似団体より低い値ではあるが、年々増加が進んでいる。

管路更新率は前年度よりも減少したが前年度は繰越工事が含まれているためであり、例年並みとなった。

今年度策定した「新水道ビジョン」をもとに計画的に老朽管、経年施設の更新を進め、老朽化対策を進め、防災対策、有収率増加に努める。

全体総括

当事業の経営状況は上記分析より、安定経営が維持されていると言える。

しかしながら、今後の人口減少の見込みや、節水機器の普及などから有収水量の減少並びに給水収益の減少が想定される。

さらに、浄水施設および配水施設の老朽化対策、老朽管による漏水などへの対応による費用も年々増加しており、一層の経営の効率化が必要となっている。

今年度策定した「新水道ビジョン」の基本理念である「生活を支える、安全で強い水道を次世代に」の実現に向け、引き続き、安定給水能力の向上に努める。